

《県営かんがい排水事業》

# 竹富町底名地区

## 地区の概要

波照間島は石垣島より約50kmの距離に位置し、有人島の中で我が国最南端の島である。本地区は島の南西部に位置し、区画整理された土地にさとうきびを中心とした畑作地域である。



## 事業概要

- 1) 受益面積 54ha
- 2) 受益者数 53人
- 2) 主要工事 貯水池2基、畑かん施設一式
- 3) 総事業費 20億1,300万円
- 4) 工期 平成6～13年度

## 事業実施の効果

### 営農時間の短縮

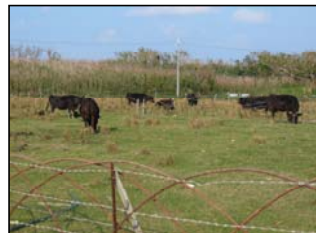
事業実施前は、島内の小規模なため池等から取水し、畑地まで運搬した後かん水していたが、畑かん整備が実施されたことで、営農労働時間の短縮と計画的な水利用による効率的な営農が可能となった。

### 安定した水の供給

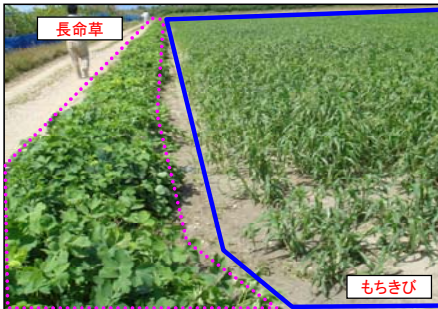
かんがい整備が実施されたことにより、島の主要な企業である波照間製糖工場においては、干ばつ等天候に左右されない安定した原料確保につながっている。

### 収益の高い作物転換

肉用牛の取引価格の高騰による牧草の作付・収穫量の増や希少価値の高いもちきびの作付が図られるなど、事業実施前に比べて収益性の高い作物への転換が図られつつある。



採草地内の肉用牛の飼養状況



もちきびと長命草の栽培状況



希少価値の高い波照間産もちきび

## 安定的な用水供給方法

畑地や道路へ降った表面水を本事業で整備した貯水池へ集水・貯留し、さらに貯水池からファームポンドまでポンプアップし、その後はほ場まで自然圧で配水し、末端は各給水栓から点滴かんがい方式等によりかん水しており、安定的な用水供給が図られている。

## 今後の課題

畑かん施設の導入によりかんがい農業が可能となったことから、今後はかん水効果の実証等を通じ、水利用技術に関する啓蒙普及に努め、反収増加を実現する必要がある。さらに、収益性の高い作物への転換が可能になったため、輸送等の流通体系の確立が今後の課題である。また、台風対策として防風林整備等を推進する必要がある。

## 「かんがい用水の確保と畑地かんがいの一連の流れ」

